

防除所ニュース

平成28年 第2号

発行 平成28年4月8日
京都府病害虫防除所

★ ネギ ベと病、さび病 情報

べと病 及び さび病の発生に注意してください。

山城地域のネギで、べと病（写真1及び2）及びさび病の発生が目立っています。

例年、3月～4月に両病害はほとんど発生しませんが、本年は3月中旬から発生を認め、4月第1半旬の調査で表1のと通りの発生を確認しています。

また、本年の2月以降、西日本を中心に9府県からネギ及びタマネギのべと病の発生に関して注意報や警報が発表されており（表2）、べと病の多発傾向が他県でも報告されています。

表1 ネギほ場におけるべと病及びさび病の発生状況(4月4日調査)

| 地 区 | 調査ほ場数 | べ と 病 | | さ び 病 | |
|-----|-------|-------|----------|-------|----------|
| | | 発生ほ場数 | 発病株率 (%) | 発生ほ場数 | 発病株率 (%) |
| 京都市 | 5 | 2 | 9.6 | 2 | 13.6 |
| 八幡市 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

(25株/ほ場調査)



写真1 黄色く変色した葉が目立つべと病発生ほ場



写真2 べと病の胞子

大阪管区气象台が4月7日に発表した「近畿地方の向こう1か月の気象予報」では気温は平年比高く、降水量は平年並またはやや多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、今後も、べと病及びさび病の発生はさらに増加するものと思われま

表2 他県におけるネギ・タマネギのべと病発生に係る情報の発表状況

| 発表年月日 | 情報の種類・内容 | 発表県 |
|-----------|----------------|-----|
| 平成28年2月4日 | 注意報 タマネギべと病 | 佐賀県 |
| 2月29日 | 注意報 タマネギべと病 | 香川県 |
| 2月29日 | 注意報 タマネギべと病 | 山口県 |
| 3月1日 | 注意報 タマネギべと病 | 愛知県 |
| 3月10日 | 注意報 タマネギべと病 | 佐賀県 |
| 3月10日 | 注意報 タマネギべと病 | 長崎県 |
| 3月16日 | 注意報 タマネギべと病 | 兵庫県 |
| 3月23日 | 注意報 ネギべと病 | 鳥取県 |
| 3月30日 | 注意報 タマネギべと病 | 島根県 |
| 4月5日 | 警 報 タマネギべと病 | 佐賀県 |
| 4月6日 | 注意報 タマネギ・ネギべと病 | 大阪府 |

ほ場をこまめに観察し、発生を認めた場合は以下の事項を参考に、早期防除の徹底に努めてください。

防除上の注意事項

■べと病

- (1) 平均気温が15～20℃前後で、降雨の多いときに発生が多くなるので、曇雨天が続く場合は発生に注意する。
- (2) ほ場の排水に努める。
- (3) 別紙「表1」を参考に、発生前や発生のごく初期から定期的に薬剤散布を行い、本病の蔓延防止に努める。
- (4) 被害葉には卵胞子が形成され、これが翌年の伝染源となるので、収穫後の被害葉は集めてほ場外に持ち出し、土中深くに埋めて処分する。

■さび病

- (1) 肥切れや窒素肥料のやり過ぎは発生を助長するので、適正な肥培管理に努める。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、別紙「表2」を参考に予防散布に努める。
- (3) 被害葉は伝染源となるのでほ場周辺に放置せず、適切に処分する。

表1 ネギのべと病に登録のある主な薬剤

| 薬剤名 | 希釈倍率 | 使用量 | 使用時期 | 使用回数 | 総使用回数 | FRACコード※ |
|--------------|------------|--------------|----------|------|-------------------------------------|----------|
| アリエッティ水和剤 | 800倍 | 100～300L/10a | 収穫3日前まで | 3回以内 | 3回以内 | 33 |
| ヨネボン水和剤 | 500倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 4回以内 | 4回以内 | M1 |
| リドミルMZ水和剤 | 1,000倍 | 100～300L/10a | 収穫30日前まで | 3回以内 | 5回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内) | 4 |
| フォリオゴールド | 800～1,000倍 | 100～400L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 4回以内(土壌灌注は1回以内、散布は3回以内) | |
| ダコニール1000 | 1,000倍 | 100～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 4回以内(土壌灌注は1回以内、散布は3回以内) | M5 |
| ベンコゼブフロアブル | 600倍 | 150～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 3回以内 | M3 |
| ジマンダイセン水和剤 | 600倍 | 100～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 3回以内 | |
| フェスティバルC水和剤 | 1,000倍 | 100～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 3回以内 | 40 |
| プロボーズ顆粒水和剤 | 1,000倍 | 100～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 4回以内(土壌灌注は1回以内、散布は3回以内) | |
| レーバスフロアブル | 2,000倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 2回以内 | 2回以内 | |
| アミスター20フロアブル | 2,000倍 | 100～300L/10a | 収穫3日前まで | 4回以内 | 5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内) | 11 |
| ランマンフロアブル | 2,000倍 | 150～300L/10a | 収穫3日前まで | 4回以内 | 4回以内 | 21 |
| ハチハチ乳剤 | 1,000倍 | 100～300L/10a | 収穫3日前まで | 2回以内 | 2回以内 | 39 |

表2 ネギのさび病に登録のある主な薬剤

| 薬剤名 | 希釈倍率 | 使用量 | 使用時期 | 使用回数 | 総使用回数 | FRACコード |
|--------------|------------|--------------|----------|------|-------------------------|---------|
| ヨネボン水和剤 | 500倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 4回以内 | 4回以内 | M1 |
| ベンコゼブフロアブル | 500～600倍 | 150～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 3回以内 | M3 |
| ジマンダイセン水和剤 | 600倍 | 100～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 3回以内 | |
| ダコニール1000 | 1,000倍 | 100～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 4回以内(土壌灌注は1回以内、散布は3回以内) | M5 |
| アミスター20フロアブル | 2,000倍 | 100～300L/10a | 収穫3日前まで | 4回以内 | 5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内) | 11 |
| ハチハチ乳剤 | 1,000倍 | 100～300L/10a | 収穫3日前まで | 2回以内 | 2回以内 | 39 |
| ラリー水和剤 | 2,000倍 | 150～300L/10a | 収穫7日前まで | 3回以内 | 3回以内 | 3 |
| オンリーワンフロアブル | 1,000倍 | 150～300L/10a | 収穫14日前まで | 3回以内 | 3回以内 | |
| サブロールフロアブル | 800～1,000倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 5回以内 | 5回以内 | |
| ベルコート水和剤 | 2,000倍 | 100～300L/10a | 収穫30日前まで | 3回以内 | 3回以内 | M7 |
| ストロビーフロアブル | 2,000倍 | 100～300L/10a | 収穫7日前まで | 3回以内 | 3回以内 | 11 |

※ FRACコード(殺菌剤コード)

殺菌剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

※ 各薬剤の登録内容は平成28年4月7日現在のものである。

農業の使用に当たっては、最新の使用方法や注意事項を必ず確認すること。また、各薬剤の使用回数を守るとともに、有効成分の総使用回数についても注意すること。